

創立150周年二川小だより

R4.5.6 第3号

〈本爺ランを開催するにあたって〉

一昨年度より本爺ランを実施してきました。最初はコロナで密になることを回避するため、持久走大会の代わりとして、少しでもできる行事をとということで始めました。しかし、コロナ対応をする前から、持久走で目ざすものは何か、全職員で考え直す機会をもちました。

持久走大会で得られる苦しいことでも我慢する経験は確かに必要であり、価値があります。しかし、従来の持久走大会では、子どもたち全員が運動を楽しめているとは思えませんでした。持久走は、一時だけの練習では、できた・達成したという体験が得られにくい運動です。

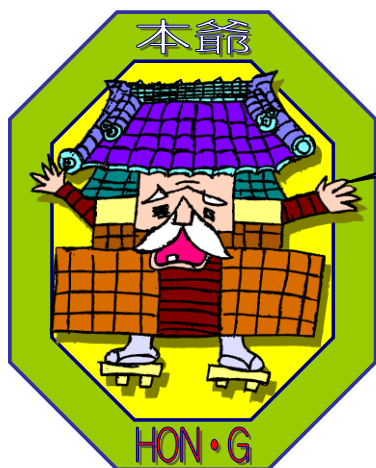
こうしたメリット・デメリットを踏まえ、全職員で検討した結果、足の速さに関係なく、「運動を楽しむ」という目標を全員が達成することを最大の目標とし、「本爺ラン」という形を継続しています。

運動が得意な子もそうでない子も、すべての子に活躍の場を設けることができるよう、授業内で取り組んでいきたいと思えます。

この二年間、子どもたちにとってアンケートの中では、みんなで走るのが楽しいと答えている子が多く、「みんな」で運動を楽しもうとする意識が芽生えているように感じます。

順位がつく持久走大会は見ている側としては見ごたえのあるものですが、本爺ランでは、子どもが純粋に友達と一緒に運動を楽しんでいる姿を、一緒に楽しんでもらいたいと思えます。

本爺ランは、持久走とは違い、よい順位や苦しさを乗り越える体験を目ざすものではありません。子どもたちが純粋に運動を楽しんでいるという姿を見て、本爺ランを終えたときに、その楽しんでいる姿を称えてあげてください。



本爺も二川っ子が運動を楽しめるように応援しておるぞ！



【昨年度の本爺ランの様子】